

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和3年11月29日（月）

### 2 確認箇所

プロセス主建屋等周辺

### 3 確認項目

- (1) 除染装置スラッジ回収施設搬入用仮設構台等設置工事の進捗状況
- (2) サイトバンカ建屋周囲の地盤陥没箇所の補修状況

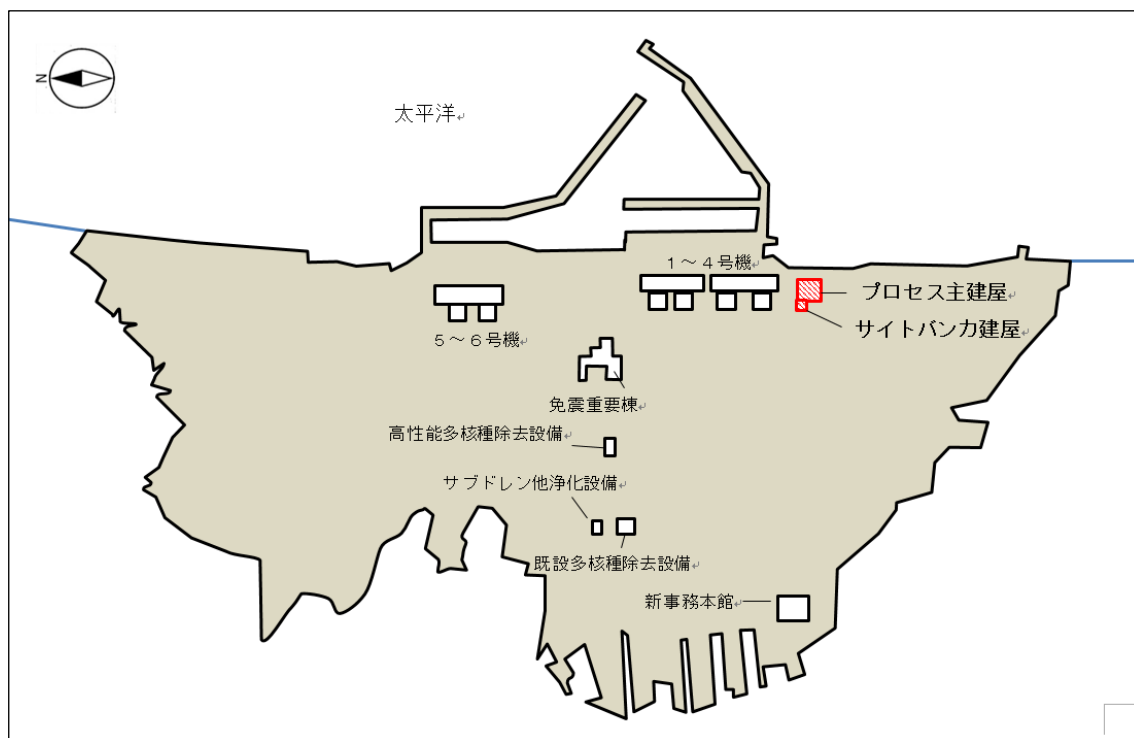
### 4 確認結果の概要

- (1) 除染装置スラッジ回収施設搬入用仮設構台等設置工事の進捗状況について

敷地東側のプロセス主建屋の地下貯槽には、震災で発生した汚染水を除染装置で処理した際に生じた高線量スラッジが貯留されており、津波による漏えいリスクがあることから、回収して高台に移送する計画がある。そのため建屋南側では、スラッジ取り出しに向けスラッジ回収施設を搬入するための仮設構台や壁面に搬入口を設ける工事が進められていることから、状況を確認した。（図1）

なお、前回（[令和3年9月30日](#)）の現地確認では、仮設構台の脚柱の設置が開始されており、また、壁面の一部から被覆材が剥ぎ取られていた。

- ・ 仮設構台の設置は完了しており、足場の解体作業が行われていた。（写真1）
- ・ 壁面の搬入口予定箇所には足場が設置されており、前回より広い範囲で被覆材が剥ぎ取られていた。また、被覆材はフレコンバッグに詰められ現場に仮置きされていた。（写真2）
- ・ 東京電力では、今後、建屋壁面への搬入口設置やスラッジ回収施設の設置などを進め、令和5年度下期のスラッジ抜き出し開始を目指すとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
前回のプロセス主建屋南側壁面の状況 (令和3年9月30日撮影)



(写真1-2)  
今回の状況 (令和3年11月29日撮影)



(写真2-1)  
被覆材の剥離箇所の状況 (破線が剥離範囲)



(写真 2 - 2)  
被覆材の仮置き状況  
(シート等で養生されていた。)

(2) サイトバンカ建屋周囲の地盤陥没箇所の補修状況について  
令和3年2月13日の福島県沖を震源とする地震等によりサイトバンカ  
建屋周辺の地盤に陥没が生じた事案について、補修状況を確認した。

(図1) (写真4)

なお、前回(令和3年9月30日)の現場確認では、陥没部は土砂による埋立が完了していた。

- ・現場確認時、作業は行われていなかったが、陥没部にはコンクリートが打設され、補修は完了していた。(写真5)



(写真4)  
サイトバンカ建屋の外観  
(令和3年9月30日撮影)



(写真5-1)  
前回の陥没部の状況  
(令和3年9月30日撮影)



(写真5-2)  
今回の状況  
(令和3年11月29日撮影)



(写真 5 - 3)  
前回の建屋北側の状況  
(令和 3 年 9 月 30 日撮影)



(写真 5 - 4)  
今回の状況  
(令和 3 年 11 月 29 日撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。